NIE実践報告

1．タイトル：新聞の読み比べを取り入れた情報発信のあり方について

2．学校名

岡山県清心中学校

3．実践者名（代表者名）

門前佐智子　丸王祐子

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　85人

6．単元（本時の学習課題）名

3分間スピーチ（NIEスピーチ）

7．目標(狙い)

・情報を多面的・多角的にとらえ、冷静に分析し、判断する力をつける。
・自分の考えを他の人にしっかりと伝えることができる。

8．評価の視点

・情報を正確に読み取り、分析ができたか。
・状況にふさわしい態度で発表できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

公民的分野を中心とした、これまでの学習と一般社会との繋がりを実感する投げ込み教材として通年（平均週1時間程度）実施

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①オリエンテーション（1時間）
②記事の選択と原稿作成（課題として放課後各人で取り組む）
③原稿添削（1種類の原稿に付き3~　5回の提出）
④発表（1学期は1人あたり10分程度、2学期は1班当たり15分程度）
⑤評価・まとめ（自己採点用紙と作成原稿の提出）
（留意点）
・1学期は個人で、2学期は班（1班3~　4人）で取り組む。
・積極的に取り組めるよう、できる限り発表者の興味のある記事を選択させる。
・2学期は最初に400字程度で3~　4紙の記事の要約をし、その後1200字程度の読み比べを行う。
・単なる内容の相違点の羅列にならないよう、比較の結果わかることを意識させるよう助言する。
・発表中他の生徒も採点をし発表の感想を伝えることで発表に相応しい態度や内容をクラス全体で共有する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

一面の政治に関する題材を選ぶ生徒が多かったが、なかには生活・文化と社会との関連やいじめや差別などを選ぶ生徒もおり、様々な題材にクラス全体で触れることができた。状況に合わせた発表方法を学ぶことができた。新聞などの情報は発信者の意図に大きな影響を受けていることを実感した。

12．成果と課題

授業で学んだことが一般社会と深い関わりを持っていることを実感できた、3年間の集大成とも言える取り組みになったばかりでなく、メディアリテラシーの向上など、高校進学後に求められる小論文への取り組みの第一歩になったと感じている。一方で、新聞の取り寄せ方・原稿の添削方法・継続的な新聞との関わりの確保などが今後の課題としてあげられる。